



なすびの花

日常点検

毎日の業務の中で、検査器や計測器など、設備の日常点検をされているかと思えます。

何気なく、形式的に行っている方も居られるのではないのでしょうか。

毎日動いている機械や計測器は、寿命や使用環境によって、徐々に劣化していきます。

日々、正常に作動することを確認しなければ、正しい製品の製造・検査が行えません。

検査器検査を例にとってみると、

● **検査の合格判定が信頼できるものであること**
とを客観的に証明する

● **検査の妥当性を維持する**

この2点が大切です。

もし、始業前点検・終業時点検を毎日行えていなければ、その間に検査した製品の妥当性が維持できません。

その後の日常点検でNGが出てしまった場合、前回の日常点検以降にさかのぼって処置しなければなりません。

点検を怠っていた期間によって、大量の作り直しや検査のやり直しが必要となってしまうのです。

検査課では先月、とあるお客様が監査に
来られました。

検査課でも検査器を、始業時と終業時の2回点検を実施しています。

お客様から、

「**終業時の点検で、NGとなった場合はどのように対処されますか?**」

との質問を受け、日常点検について改めて考える機会があり、今回記事にしました。

日常業務で、作業とは直接関係ないように見える業務がありますが、全てこのように意味があることです。

皆様の携わっている業務の中で、問題意識の感覚を育てるきっかけになると嬉しいです。

ちなみにこの場合の質問の答えの正解は、

「**お客様にご連絡し、対応を仰ぎます。**」
でした。

ISO9001における社内の規定では、検査器点検で異常が発生した場合の対処の
手順は、

『**上司に報告し、指示を仰ぐ**』

と規定されております。

製造工程でも、検査工程でも、点検異常が発生した際には、まずは現場リーダーや上司に報告しましょう。

人生は一生勉強

先日、営業部の方から、

「QC検定のテキストを貸してください。」

と言われ、検査課で保管しているテキストを数冊お渡ししました。

営業部の新人さんに、QC(品質管理)について学んでもらいたいので...とのことでした。

後日、テキストを取りに来られた営業部の方のデスクの近くに行くと、その方がQC検定のテキストを読んでおられて、

「僕もQCについておさらいしています。」
とおっしゃっていました。

この方は色々な範囲の知識が豊富なので、QCについてもよくご存じなのですが、学ぶことへの意欲が、豊富な知識に繋がっているのでしょう。

『人生は一生勉強』と言いますが、年齢を重ねるごとに、また、日々の忙しさに学ぶことを後回しにしてしまいがちです。

勉強は、学問だけではなく、興味のある内容の教養を深めることで、人生を更に豊かで楽しいものにできるのではないのでしょうか。

年末年始休暇

今年の年末年始の休暇は、

12月29日～1月4日までです。

※暴飲暴食に注意しましょう!